

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 349

■ 自動車工学関連講座（中堅技術者向け Web セミナー）

第1回「リーダーが知っておくべき生産現場管理の基本」（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様から希望の多い中堅社員向け社内教育として、汎用的なテーマを取り上げ、自動車工学関連講座の一環として、中堅技術者向け Web セミナーを開催しています。

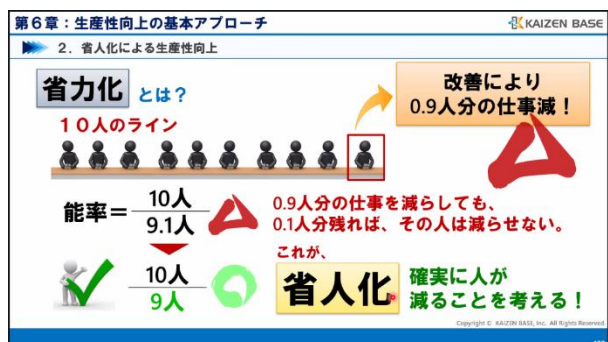
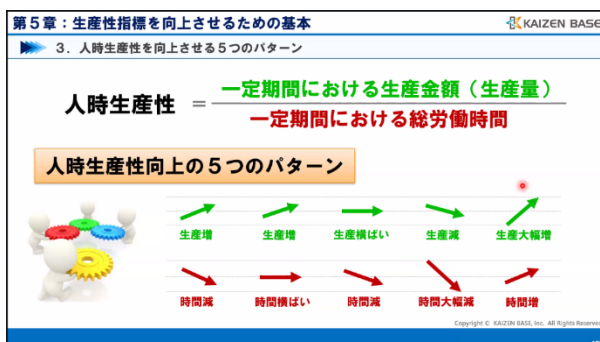
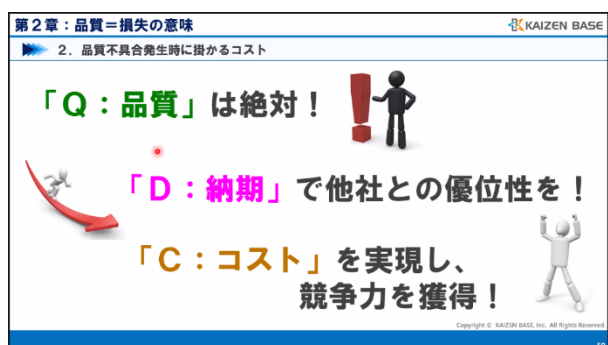
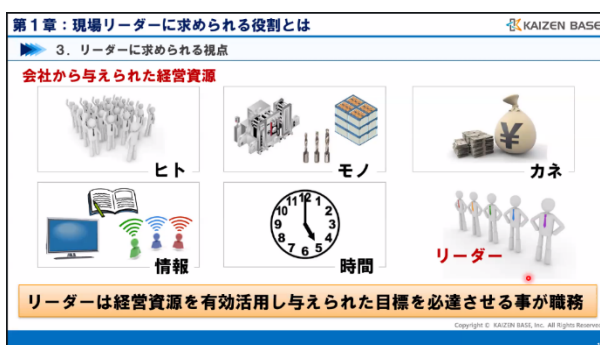
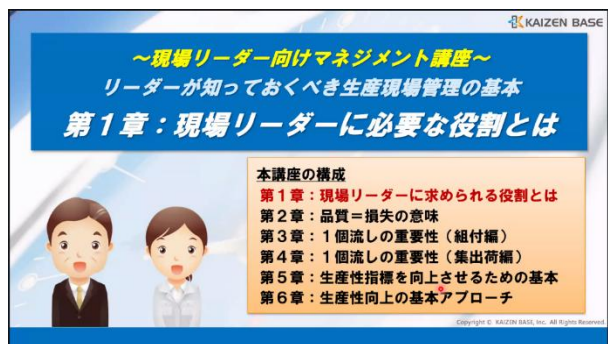
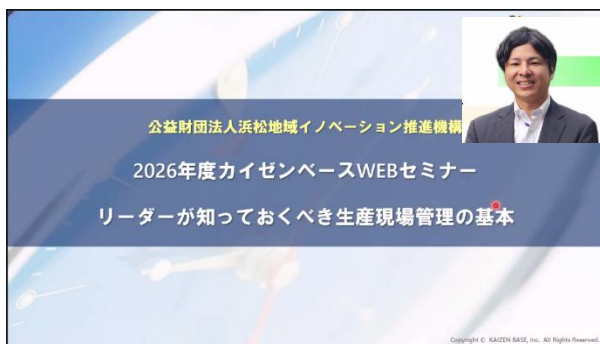
本年度も、多くの社員の皆さんが自社内で受講できる機会を企業力アップにご活用いただくため、カイゼンベース社を講師に、昨年度から内容も見直し、6回連続の Web セミナーとして順次実施していく予定です。

今回は、当センターの堀センター長による開講の挨拶に引き続いて、第1回として「リーダーが知っておくべき生産現場管理の基本」を Web セミナー形式で開催しました。

■ 日 時： 2026年5月14日（木）13時30分～15時30分

■ 場 所： Web形式

■ 参加者： 50社／239名



【参加者の声】

- ・人、モノ、カネ、情報、時間は会社から与えられた経営資源という考え方は、自身の業務を取り組むうえでこれらをどう使い、目標を達成するかという大事な視点となった。
- ・品質＝損失について具体的な金額で示され、生産に関わるメンバーに品質不具合による影響や安定した品質の重要性をより理解するきっかけになった。内向きの目で全体を見ながらムダを無くしていき、現場に対してただ指示を出すだけでなく、お互いに意思疎通ができる環境を作りながら進めて行けるようにしたいと思った。
- ・リーダーとしてトップダウン、ボトムアップの中継役として担うことで、現場に変化をもたらすことができ参考になった。品質面、ロス面、1分1分にコストがかかっている、ミスの伝え方、考え方について改めて意識することができた。
- ・特に「1個流し」の重要性について、現場で発生するムダや停滞との関係が具体的に非常に理解しやすかった。また、リーダーは単に作業をこなすのではなく、現場の声を吸い上げながら、目的・背景を明確に伝え、経営資源を有効活用して目標達成へ導く役割であることを改めて認識できた。
- ・リーダーとして、部下に対しての接し方ひとつで品質に影響が出てしまうことを深く理解できた。今まで何となくやっていたことの重要性を今回のセミナーで理解した。
- ・心配り、目配り、心配り、心配り、時配り、部下を「手足」ではなく「人（主体性を持つ対等なビジネスパートナー）」として扱う、計画（目標・予算）と実績の対比は、企業や個人が目標を達成するための「予実管理」の基本をマスターなど、実務に戻ってから勝負で管理とフォローの継続とフィードバックが重要。
- ・常日頃、不良に対しての取組や設計時点でFMEA潰し込みを実施しているが、今回の講習を受けたことで品質の重要性が再認識できた。あたりまえのことに對し、面倒な事案こそ落とし穴があると思い、目を背けずに基本に振返って取り組もうと思った。
- ・班長として部下に教育する時の方法を学べた。改善に対して、数値等、見える化して部下の改善意欲を上げたいと感じた。
- ・現場のリーダーに求められる役割について、部下への教育・訓練がリーダーの役割ということは理解していたが、なぜ大事なのか、部下の仕事の確認を行うことが今後の成長に繋がることがわかったので、今後から部下への教育方法を気を付けたいと思った。
- ・生産現場の管理だけでなく、リーダーとして必要な視点や部下への期待など、細かな点まで理解できて非常に学びになった。
- ・時間、金額など数字で表すことで、重大性・緊急性を具体的に伝えることができると参考になった。アニメーションで1個流しのメリット、そうでない流し方のデメリットが非常にわかりやすく、理解が深まった。
- ・組織におけるリーダーの役割として、トップの方針をわかりやすく部下に伝えることが大切だとわかっていたが、ボトムからの問題を上に伝え、解決していくのも重要な役割であると感じた。また、良いリーダーになるにはミスを責めない、再発防止を考える、事実に基づいて具体的に褒めるなど、普段の部下への接し方を理解できた。
- ・リーダーとはから始まり、実際に行うことや姿勢まで具体例をあげて説明いただき参考になった。コミュニケーションと改善活動の重要性など、より深く理解することができた。
- ・部下との意思疎通が不十分だと品質損失、時間、コスト面で大きな損失を生むことを理解できた。生産性指標についての考え方を知ることができた。
- ・1個流しの仕組みや重要性が深堀でき、また初めて耳にする人時生産性についても知ることができた。
- ・部下に指示する際、内容や業務の流れを把握し、その作業が正しくできているか見届けることを徹底しなければならないと改めて感じた。